令和８年８月臨時会会議録

（令和８年８月２４日）

八代市教育委員会

八代市教育委員会８月臨時会会議録

【開 催 日】　令和８年８月２４日（月）

【場　　所】　八代市役所本庁４階　４０３会議室

【出 席 者】

中　　勇　二	教育長
渡　邉　裕　一	教育委員
澤　村　亙　寛	教育委員
早　田　　蛍	教育委員
丸　山　智　子	教育委員

【出席職員】

鋤　田　敦　信	教育部長
長　舩　征　洋	教育部次長
田　中　博　之	教育部次長
押　方　佐地子	教育政策課長
早　瀬　泰　志	学校教育課長
稲　本　健　一	教育部理事兼教育施設課長
岡　山　恭　久	生涯学習課長
中　村　裕　一	教育サポートセンター所長
山　﨑　　摂	博物館未来の森ミュージアム副館長
坂　部　功　泰	未来の学校づくり推進室長
田　島　良　洋	文化振興課長
山　田　章　広	教育政策課学校管理係長

【事 務 局】

池　田　拡　次	教育政策課主幹兼教育政策係長
橋　口　久美子	教育政策課参事

（審議事項）　＜報告案件＞

① 報告第１４号　令和８年熊本地震に係る被災状況及び学校再開に向けた対応について

１．開会　（午前１０時０５分　開会）

２．議題

＜報告第１４号＞　令和８年熊本地震に係る被災状況及び学校再開に向けた対応について

鋤田教育部長　令和８年熊本地震に係る被災状況及び学校再開に向けた対応について、資料により説明。

・避難所開設状況、避難所拠点化
・教育施設の被害状況及び人的被害
・２学期の学校再開に向けた準備状況

・給食の対応状況

稲本教育施設課長　八代市立龍峯小学校の被害状況及びライフラインの被害状況について、資料により説明。

早瀬学校教育課長　龍峯小学校が宮地小学校の臨時仮校舎に移ること、災害時学校支援チームが岡山県・大阪府・熊本県から来ており、今後高知県・香川県からも来る予定であることを資料により説明。

押方教育政策課長　被害が大きかった３校の備品関係被害状況、応急給食の対応、龍峯小学校の通学支援について、資料により説明。

中村教育サポートセンター所長　地震後の八代市教育支援センター「くま川教室」の活動、各種研修会・主催事業の対応について、資料により説明。

岡山生涯学習課長　八代市公民館、図書館本館、かがみ分館、せんちょう分館、西宮・上日置集会所、赤星公園の被害状況等について、資料により説明。

山﨑博物館未来の森ミュージアム副館長　八代市立博物館未来の森ミュージアムの被害状況について、資料により説明。

坂部未来の学校づくり推進室長　８月下旬から地域に入って懇談会を実施する予定としていたが、今般の地震を受けて当分の間実施を見送ることとする。

澤村教育委員　ものすごく被害が出ていたので、本当にびっくりし、衝撃を受けた。地震の発生が夏季休業中だったことで、児童生徒や職員の被害が少なかったのは幸いだったと感じている。

職員の皆さんも復旧調査等大変だと思う。

龍峯小が一番大きな被害を受けたが、宮地小学校で２学期が再開できることはとてもよかったと思う。他の学校も先ほど報告があったように、２学期が再開できるとのことでよかったと思う。

校舎の被害が２番目に大きかった鏡小学校は、先ほど報告にあったとおり校舎の一部が地盤沈下している。地盤沈下した１階部分は使えないので、他の被害が少ない教室に移動をしたとのことだが、２階は使える状態なのか。

稲本教育施設課長　２階、３階も被害があり床がかなり隆起していた。それについては夏休み中に補修が終わるよう段取りをしている。２階、３階が使えるようになるので、１階にあった２クラスを２階、３階に移動してもらうよう校長に話をしている。１階はどこが補修できないかというと、段差がある所はスロープ

をつけるように行っているが、教室についてはかなり床が隆起しているため、夏休み中に対応が終わらないことから、１階については使用制限としている。

澤村教育委員　　１階部分は地盤沈下しているが、２階以上は使っても安全という判断が出ている。１階部分については隆起等があり立ち入り禁止という区間になっている。そのため、立ち入り禁止区間以外で教育活動はできるということで理解した。

丸山教育委員　　避難所が集約予定ということで進められているが、まだ鏡と太田郷が集約予定先として残っている。学校が始まった後の施設の使用状況についてはどういう形で行うのか。例えば、体育館が避難所として使われているので教育活動として使えないと思うが、どういうふうに調整されるのか。

鋤田教育部長　　今のところ体育館は使えない状況である。今後どういった対応をするのか学校とも話をしていかなければならない。
部活動も難しいという話があるので、そこはほかの学校の活用等を検討しながら相談しなければならないと考えている。

澤村教育委員　　学校の受け止めはどうか。

早瀬学校教育課長　　体育館が使えないので、教育課程、特に体育の授業に影響してくるかと思う。そこは教育課程を動かしながらの対応になるかと思う。
先週の校長園長会終了後に、中学校の校長が避難所となっている学校の部活動は近隣の学校と協力しながらやっていく方向で話をしていたので、そのような対応になるかと思う。

丸山教育委員　　太田郷校区は二中も太田郷小も避難所になるということで、片方だけが避難所だったらどちらかを使うことも出来たが、しばらく大変だなと思った。避難者が多いので、なるだけ影響が長引かないといいなと思った。

中教育長　　二中の避難者が多く、そこだけで環境を確保することは難しいということで、太田郷小も避難所となった。太田郷小は体育館にエアコンがついていなかったが、国が動いてエアコンをつけてもらった。それで太田郷小が避難所として開設することとなった。ほかにも、鏡小、文政小は避難所として使っていたため、エアコンをつけてもらっている。

渡邉教育委員　　甚大な被害に対して迅速な復旧対応を取っているので、教育委員会はすごいと思った。本当に感謝している。多くの疑

問があったが、詳しい説明でほぼ解消している。
　何点か尋ねたいが、まず１点目は一番心配している龍峯小について、県や国など人的な支援がどの程度あるのか。子供達の心のケアは各学校でされると思うが、ＳＣ（スクールカウンセラー）の派遣などはあるのか。
　２点目は図書館本館や博物館やでんでん館なども大きな被害があったと思うが、再開までの見通しは、数週間単位なのか、数ヶ月単位なのか、数年単位なのか分かれば教えてほしい。
　３点目文化財について、道路から見るたびに胸が痛くなるが、今後復旧に向けて計画等が立てられていくのか。今は状況把握や調査中だと思うが、今後の計画や動きがあれば教えてほしい。
　最後に給食について、応急給食の間に被災後の施設を使って、試運転をするのか。

早瀬学校教育課長　　まずＳＣの派遣について、一番重く捉えているのが龍峯小学校、宮地小学校になる。龍峯小学校の子供たちは当然だが、受け入れ側の宮地小学校の子供たちも大きな環境の変化になるので、県に申請をして宮地小学校に週５配置をしてもらえるように依頼をしている。
　それから人的な支援については、県は龍峯小学校の登下校の見守り、他の県は独自で動いて支援を行っている。その他、龍峯小、宮地小、鏡小などにカウンセリング的な支援を出してもらえるようお願いしている。
　先日教育長から各学校の困り感を把握するよう話があったため、３１日の週に指導主事が学校を回り、それぞれの困り感を拾う予定。支援チームと連携しながらどういった手立てができるのか、どういったかたちでするかは未定だが動いているところである。支援チームが精力的かつ献身的に動いてもらっているので、力を借りて、２学期開始に向けて動いているのが今の状況である。

岡山生涯学習課長　　図書館の本館は、再開に向けて今準備を進めている。本館の閲覧エリアは棚が倒れているので、棚を戻すなどの作業を予定している。その為、設置業者及び指定管理者、生涯学習課で再開に向けた協議を進めているところである。現時点で再開時期は未定だが、なるべく早く再開に向けて準備していきたいと思う。
　分館は９月１日から再開する予定としている。９月１日からは開架エリアの本の貸し出しを再開し、閉架エリアについては復旧次第、再開したいと思う。

山崎博物館未来の　　心のケアや日常を取り戻すという意味で博物館が果たす役

森ミュージアム副館長　割は大きなものだと思っている。だが、まずは安全性の確保、そして次の地震への備えというところを十分考慮しなければならない。復旧工事がいつ終わるかというところがまだ見通せない状況であるため、状況がわかり次第、開館の目処を立てていきたいと思う。

この秋に予定していた特別展は、ケースが壊れたことや今から広報活動などを作らなくてはいけない時期に来ているということもあり中止を決定した。今後については、館内の安全性が確認出来ないと特別展の開催は難しいのではないかと考えている。

田島文化振興課長　文化施設について、まずはでんでん館から、伝承ルームの扉や壁の破損、壁面ボードのひび割れ等があるが、開催にあたって特段支障はない。ただ、現在駐車場が他県や他地域からの応援職員の駐車場となっている。そのあたりの対応がなくなれば開催可能と考えている。ただし、９月いっぱいは閉館する旨をアナウンスしている。また、文化センターについては舞台装置の破損等があり、確認がすべて済んでない状況である。さらに周辺の石畳は前回の地震と今回の地震の影響で足元が非常に悪いため、復旧が必要だと考えている。ただ、施設自体は大きく損壊しているわけではないため、開館はある程度可能かと考えている。ＪＲが宇土駅までしか動いてないため、八代駅から宇土駅までの臨時バスを出すとのこと。有佐駅、千丁駅が停留所に使えないとのことで文化センターの駐車場を使いたいと話が出ている。有佐駅まで行くルート上に危険な建物があり、その建物が撤去されれば有佐駅が停留所になると思うが、それまでは開館できない状況である。そのため、９月いっぱいは閉館としている。

文化財について、松浜軒は道路に面した角の蔵が倒壊しているため、１，２週間前から撤去作業が始まっている。八代城跡や妙見宮など１０年程度は復旧に時間が掛かると見込んでいる。補助等について国あたりから補助等を受けながら事業を進めていくことになる。今までの話は登録している文化財のことになり、未指定の寺社や神社仏閣等の被害が多くあるため再建の支援が必要となる。その為要望を再度検討しなければならないと内部で話している。

押方教育政策課長　給食施設は、まだ井戸水が濁る施設もあるが、水やガスが復旧した施設からボイラーの稼働テストなどを進めている。ただ施設内の水やガスの配管の破損などは、テストを行いながら発覚する所もあるので並行して修繕も進めている。８月２７日にはいつ頃通常給食の提供が再開できるのかという目処を立てたいと考えている。ただ、その期間が長期間になる見込みがある施設については、他のセンターからの配送など

も含めて今後検討したいと考えている。一日も早く学校に通常給食を届けられるよう検討をしたいと思う。

渡邉教育委員　　たくさん困難はあるが、頑張っていただければと思う。

早田教育委員　　まず初めに、皆さん自身も被災されながら、本当に細かく調査をし、対応を同時並行でして頂いていることに対し、素晴らしいと感じた。また、皆さんのおかげで、通常通り８月２８日から学校が始まるということで、本当にありがたい。また、こういった地震が起きた後に感じたのは、この地震が起きる前に、耐震がしっかりしてない施設の対応を取っていたことで被害を抑えられた所もあったのではないかと感じた。

尋ねたいことは、３８ある避難所のうち、何校が学校関係の施設だったか。

給食は来週から提供されるということですが、温めずそのまま食べるということか。

通学路関係で、家などが倒れてきそうな所などがある。通学路の対応は本来、学校や地域ですることだと思うが、教育委員会で何か考えられているところがあれば教えてほしい。太田郷のＰＴＡは皆被害がひどいため、活動自体停止をしている。そういった状況のためＰＴＡからの連絡も全くない校区もあるので、教えていただきたい。

最後に、学校からのヒアリングはこれから行うと伺ったが、子供たちのヒアリングはどのように考えているか。というのも、避難所の手伝いに私も行ったが、子供たちが結構多いと思った。その中でも小学生と中学生が手伝いを一生懸命していて、避難所や地域のために頑張っている姿が見られた。一方で避難所と性被害というのは、どの災害でも起こり得ることで、夏という事もあって結構子供たちが薄着で避難所をウロウロしているので、嫌な思いをする事がなかったか心配になる。大人同士の揉め事や心ない言葉をかけられたなど、子供が巻き込まれてないか心配している。避難所にいる子供たちだけではなく、子供たちのヒアリングもできれば、ぜひ考えてほしい。また、今の状況も教えてほしい。

鋤田教育部長　　避難所となっている学校は、３８の避難所中１６の小中学校である。

押方教育政策課長　　レトルト食品は常温でそのまま子供たちに食べてもらう予定である。

早瀬学校教育課長　　通学路に関して、市教委で行っていることはないが、続々とこの震災に関する工事の情報が来ているので、その都度学校には周知をしている。先日の臨時校長園長会の時に、先生の会議研修等が中止または延期となったので、学校開始まで

に急いで、通学路を職員に見てもらっている。地割れやアスファルトの破損などを確認し、安全な通学路を早く家庭に周知することをお願いしている。ただ、登下校に関してはなかなか職員で対応できないので、地域の方やＰＴＡの方と協力しながら見守りをお願いしている。それから大きな事案としては、太田郷校区にある日本製紙の真ん中の通りが今通れない状況となっていること。日本製紙の方はすぐ来られ、状況等の報告と今後の見通しを話された。二中及び太田郷小学校にはすぐ伝達し、随時情報が変わるため、随時学校と連携して伝達しているところである。

それから子供の心のケアの件について、夏休み中であったため子供たちに聞き取りができる状況ではなかった。震災直後に子供たちの安否確認と共に、今どのような状況か各学校からメール等で聞いた学校もあったと聞いている。１０年前に熊本地震があった時に、熊本県教育委員会がハンドブックを作成した。その中に子供たちの心のケアというチェック項目が載ったものが作られていたので、先日の臨時校長園長会議の時に紹介し、始業式の日にぜひ活用して子供たちの心のケアにつなげてほしいとお願いをした。

中教育長　　最後に、文科省から学校の再開に向けてという通知が出ているが、まずは、施設や通学路の安全確保、それから衛生環境の確保、水の確保、それから子供たちの心のケア、１０項目以上そういったものが出されている。

これまでの災害の地点で通知が出ているので、その辺を参考にしながら今回の八代市の教育に合わせどう対応をしていくのかを、学校はじめそれぞれの部門で当てはめて対応してほしい。

学校閉庁期間を解除したので、お盆の期間を使って色々な学校を回った。避難所になり大変そうな学校もあれば、のんびりとした空気が流れている学校もある。被害が全くないという所はないが、２学期に向け心のゆとりがある所と、少し大変そうな所がある。それぞれの学校に応じて、いろいろ使えるものを精一杯使って２学期が再開出来るように教育委員会も手をかけたいと思っている。

多くの子供たちが市外や県外の親戚を頼って避難しているという話を学校から聞いている。２学期が八代で安心して出来ることを発信していかなければと思う。子供たちもこれまでは学校へ行こうと思っていたのが震災をきっかけに学校に足が向かなくなるということもあるので、皆さんが心配している心のケアもしっかりしていてもらえればと思う。

３．連絡事項　　学校教育課　Ｂ訪問Ｒ８年度未実施分をＲ９年度へ変点

Ｃ訪問Ｒ８年度未実施分をＲ９年度へ変更
但し、Ｃ訪問分はＲ８年度ａ訪問に変更して実施
２学期始業式（8/28）
児童生徒の所在確認
運動会（泉八小 9/13）（第一中・第八中 9/19）

事務局　　９月定例会日程確認（9/28　14：00～予定）

４．会議録署名委員の指名　　渡邉委員・澤村委員

５．閉会　　（午前１１時４２分　閉会）

令和　　年　　月　　日

署名委員

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

記録者

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿